JPT-560S

ポータブルDVDプレーヤー
取扱説明書

ご使用前に本説明書をご一読ください

目 次

はじめにお読みください 3
FCCおよび安全性に関するご注意 3
安全に関するご注意（重要） 4
事前注意 5

クイックガイド
ポータブルDVDプレーヤーを使用する前に 6
開梱 6
前面図 6
左側面図 7
前側面図 7
右側面図 7
リモコンの外観図 8
リモコンのバッテリー装着 8
リモコンの操作範囲 9
クイックオペレーションガイド 10
クイックオペレーション 10
バッテリーパックの使い方 13
バッテリーパックの充電 13

第1章　DVD
1-1　DVDの再生 14
基本的な再生 14
再生の停止およびメニュー画面への復帰（ディスクに対応したメニュー画面が使用できる場合） 14
再生の停止 15
早送り（巻き戻し） 15
スロー再生 15
チャプターの前方または後方にスキップ 15
静止画（PAUSE/STEP） 15
リピート再生 16
A-B間リピート再生 16
お好みの順番で再生 16
1-2　便利な機能 17
シーンのインフォメーションの表示 17
オーディオサウンドトラック言語の変更 17
AFF（アクティブフルスクリーン機能）の起動 17
画像のズーム 17
サブタイトル言語のクリア／表示／変更 18
異なったアングルからの再生 18
DVDプレーヤーのミュート（消音） 19
DVDメニューの使い方 19
メニュー機能の使い方 19
タイトル／チャプター番号からシーンを選択 20
時間からシーンを選択 20

目 次（続き）

第2章　オーディCD
2-1　オーディオCDの再生 21
基本的な再生 21
再生の停止 21
早送り（巻き戻し） 21
トラックを前方または後方にスキップ 22
再生の一時停止 22
2-2　CDのインフォメーション表示（オーディオCD） 22
CDのインフォメーションのクリア／表示 22

第3章　セットアップ
3-1　言語のセットアップ 23
言語の設定 23
3-2　ビデオのセットアップ 24
テレビの画面の縦横比の設定 24
明るさと鮮明さの調節 25
3-3　オーディオのセットアップ 26
デジタル出力の設定 26
3-4　カスタムセットアップ 27
ペアレンタルコントロールの設定（DVD） 27
パスワードの設定（DVD） 28
工場出荷時の設定 29

第4章　参考
4-1　故障かな？ 30
4-2　ディスクの扱い方とメンテナンス 31
4-3　用語の定義 32
4-4　仕様 32
ポータブルDVDプレーヤー 32
出力 32
再生可能メディア 32

はじめにお読みください

1. デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。これには製品本体の仕様およびソフトウェア、ソフトウェアドライバ、ユーザマニュアルが含まれます。このユーザマニュアルには本製品についての概要が記載されています。
2. 本ユーザマニュアルに誤りや矛盾があった場合について、製造者は何ら責任を負いません。
3. ドライバのアップデートや本マニュアルの改版については、当社ウェブサイトをご覧ください。
   http://www.c-mex.co.jp/
4. 本マニュアルに記載のイラストは機能などの説明を目的としていますので、実際の製品とは異なる場合があります。
5. 本製品はご家庭内での使用を目的として製造されております。それ以外での使用は、保証の対象外となります。

FCC および安全性に関するご注意

FCC：(Federal Communications Commision：連邦通信委員会)

警告：
本体にはレーザーシステムが搭載されています。レーザー光は眼に損傷を与える可能性があるため、正規のサービス員以外の人がカバーをはずしたり、機器の修理を行なわないでください。また、本機器のサービスは、正規のサービス員のみが行なってください。本書で説明した手順以外の方法で制御、調整、操作したりすると危険な放射にさらされる可能性があります。

注意：
本装置は FCC 規則第 15 条に準拠しています。本装置の操作にあたっては、次の 2 つの条件を前提とします。
(1) 本装置は、有害な電波干渉の原因となってはならない。
(2) 本装置は、予想外の動作の原因となる干渉を含めたあらゆる干渉を受容しなければならない。

注：
本装置は、FCC規則第15条に基づくクラスBデジタル機器の範囲内であることが検査により証明されています。この範囲は、住宅地域への設置にあたり、有害な電波障害を防止する目的で設定されています。本装置は高周波エネルギを生成、使用、放射するため、本書に従って設置および使用しないと、無線通信における電波障害を引き起こすおそれがあります。しかしながら、これは特定の設置方法により、電波障害が発生しないことを保証するものではありません。本装置が無線やテレビの受信障害を起こしているかどうかは、本装置の電源のオンとオフを切り替えることで判断できます。電波障害が発生する場合、次の対処方法を試してみることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 本装置とレシーバをできるだけ離れた位置に配置する。
- 本装置とレシーバの電源を、それぞれ別のコンセントに接続する。
- ディーラ、あるいは経験のある無線やテレビ技術者に問い合わせる。

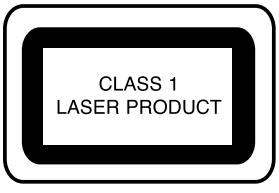
本装置を FCC 規則第 15 条の B の範囲に適合させるためには、シールドケーブルを使用する必要があります。マニュアルに特に記載のない限り、本装置の改造や修理を行わないでください。そのような改造や修理がなされた場合は、本装置のご使用を中止ください。

この製品には、Macrovision Corporation およびその他の権利所有者の有する、米国特許およびその他の知的所有権によって保護される著作権保護技術が含まれています。この著作権保護技術の使用には Macrovision Corporation の許可が必要です。

DVD ビデオは、世界の異なった地域で異なった時間にリリースされるのが通例であるため、全てのプレーヤーは地域コードを持ち、ディスクは選択可能な地域コードを持ちます。異なった地域コードのディスクをプレーヤーで再生しようとすると画面に地域コードの注意事項が表示されます。本プレーヤーは地域コード 2 および 2 を含むディスクのみを再生します。

電源を ON にしたまま接続したり、接続変更を行なったりしないでください。

注意：
本体を開けると可視レーザーおよび不可視レーザーが放射されますので、そのレーザービームに直接当らないように注意してください。(危険な場所：レーザーのカバーシールドの中)



安全に関するご注意（重要）

１. 本書を必ず一読してください。

２. 本書を保管しておいてください

３. 全ての警告について留意してください。

４. 本書の注意事項を厳守してください。

５. 水のそばで本機器を使用しないでください。

６. 湿った布のみ使用して本体を掃除してください。

７. 換気口を塞がないででください。メーカーの指示にしたがって設置してください。

８. 放熱体、ヒートレジスター、ストーブ、その他熱を発する機器（アンプを含む）のような熱源の近くに設置しないでください。

９. 電源コードを踏んだり、プラグ、コンセントおよび機器から出た部分が折れ曲がらないようにしてください。

10. メーカーが推奨した添付品／付属品以外を使用しないでください。

11. メーカーが推奨した荷台、台、三脚、張り出し棚、テーブル、または機器と一緒に販売されたもののみ使用してください。荷台を使用する場合、荷台に機器をのせて移動するときひっくり返って怪我をしないように注意を払ってください。

12. 雷雨時や長時間使用しない場合は、機器の電源プラグをはずしてください。

13. 全てのサービスについてのご質問は、正規のサービス員に問い合わせてください。電源コードやプラグが破損したとき、液体がこぼれたとき、機器の上に何か物体が落ちたとき、機器が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき、機器を落としたときなどにサービスをご利用ください。

14. 直射日光の当たる場所や閉じた車中など、高温になる場所に本製品を置かないでください。高温にさらされると、ケースやその中身に悪影響を与えるだけでなく、発火を招く恐れもあります。

15. 内部が加熱され、ケースがゆがんだり、発火を招く恐れがありますので、布やキルトをかぶせたり、包んだりしないでください。本製品およびアクセサリは常に通気性のよい環境で使用してください。

16. 本製品は注意深く扱い、衝撃や振動を与えないでください。乱暴な扱いは故障の原因となります。

警告：
火災や感電などの危険を避けるために雨や湿気にさらさないでください。水滴が落ちるところまたは水がはねるようなところに置かないでください。また花瓶のような水が入ったものを機器の上に置かないでください。

事前注意

プレーヤーをご利用になる前に、ここに記述した注意内容をご確認ください。

電源コードの保護

本体が故障しないように、また感電、火災、人体への影響を防ぐために以下のことに注意してください。

・AC 電源コードを接続したり、はずしたりするときはプラグをしっかり持って行なってください。
・AC 電源コードは熱器具のそばに置かないでください。
・AC 電源コードの上に重いものを置かないでください。
・AC 電源コードを修理したり、改造したりしないでください。

保管

以下のような場所には保管しないでください。

・直射日光の当る場所、放熱器のそば、または閉めきった自動車
・35℃以上の高温または 90% 以上の高湿な場所
・内部部品に致命的なダメージを与えるようなほこりの多い場所

使用しない間

・本体の電源を OFF にします。長時間使用しない場合は、家庭の AC コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

指の挿入または異物混入

・危険ですので本体の内部部品には触れないでください。内部部品に触ると致命的な損傷を与える可能性があります。また、本体を分解しないでください。
・ディスクトレイにディスク以外のもの置かないでください。

水や磁石のそばに置かないでください

・花瓶、浴槽、流し台などのそばで使用しないでください。液体を本体の中にこぼすと、致命的な損傷を与えます。
・本体のそばに磁石や磁化したものを置かないでください。

積み重ね

・本体を水平な場所に置いてください。また、本体の上に重いものを置かないでください。

考慮すべき事項

以下のような条件では、レンズが曇る可能性があります。

・ヒーターの電源を ON にしたすぐ後
・湯気の立ち込める部屋または湿度の高い部屋
・本体が寒い環境から暖かい環境に突然移されたとき

本体内部に湿気が発生すると適切に動作しなくなる可能性があります。こういう場合、電源をオフにして湿気が乾くまで 1 時間ぐらいそのままにしておいてください。

テレビ画像に雑音障害が発生している場合

テレビの受信状態によりますが、テレビ番組を観ているときや本体の電源をつけたままにしているとテレビ画像が乱れることがあります。

ポータブル DVD プレーヤーを使用する前に

本クイックガイドには、素早く簡単にポータブル DVD プレーヤーを設置する方法が説明されています。説明にしたがって注意してポータブル DVD プレーヤーをセットアップしてください。

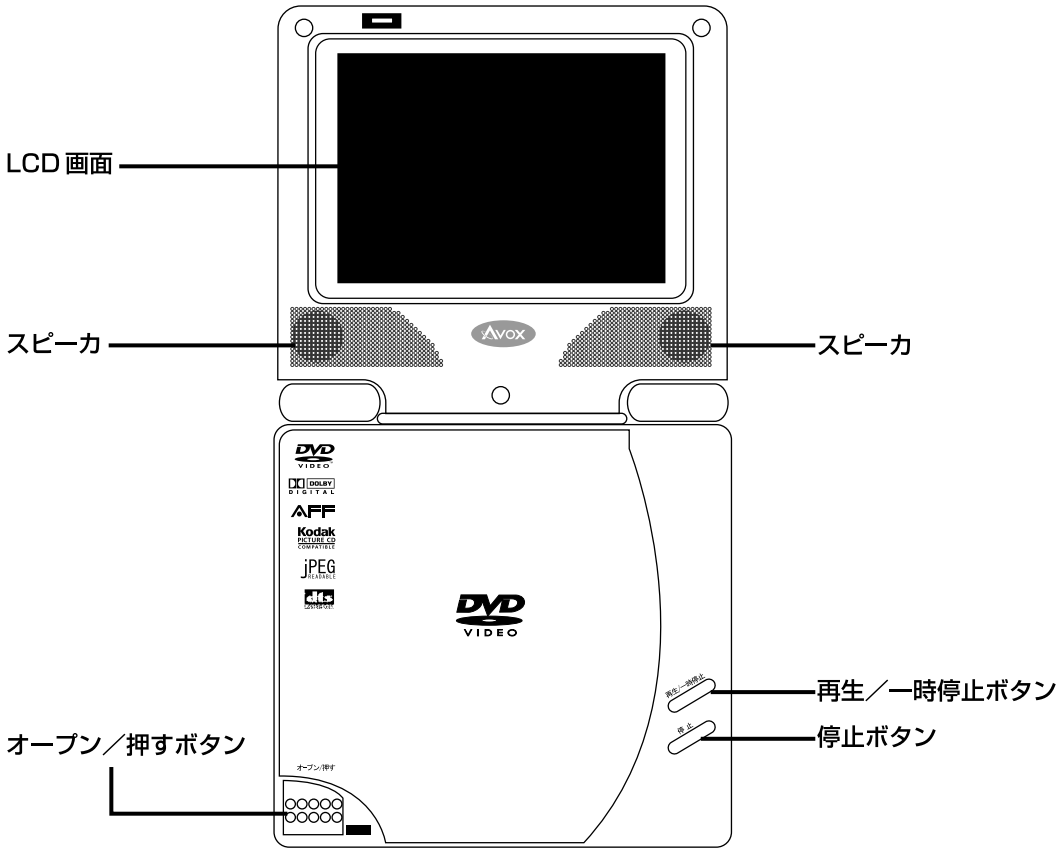
開梱

最初にポータブル DVD プレーヤーのパッケージの中身をチェックしてください。

ポータブル DVD プレーヤー	1	バッテリーパック	1
オーディオケーブル（白色、赤色）	1 組	AC 電源アダプター	1
ビデオ／同軸ケーブル	1 組	イヤホン	1
リモコン（リモコン用ボタン電池）	1	12V 専用カー電源アダプター	1
保証書	1	取扱説明書	1

警告：
弊社または弊社が認可した関係者による明示的な書面の承諾なしに本機器を改造したり修正したりすると全てのメーカー保証が無効になります。

前面図

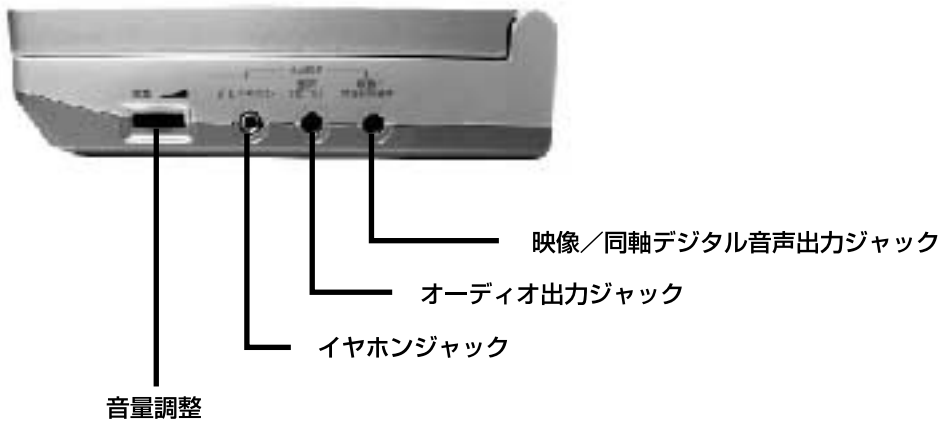


ポータブル DVD プレーヤーを使用する前に（続き）

左側面図

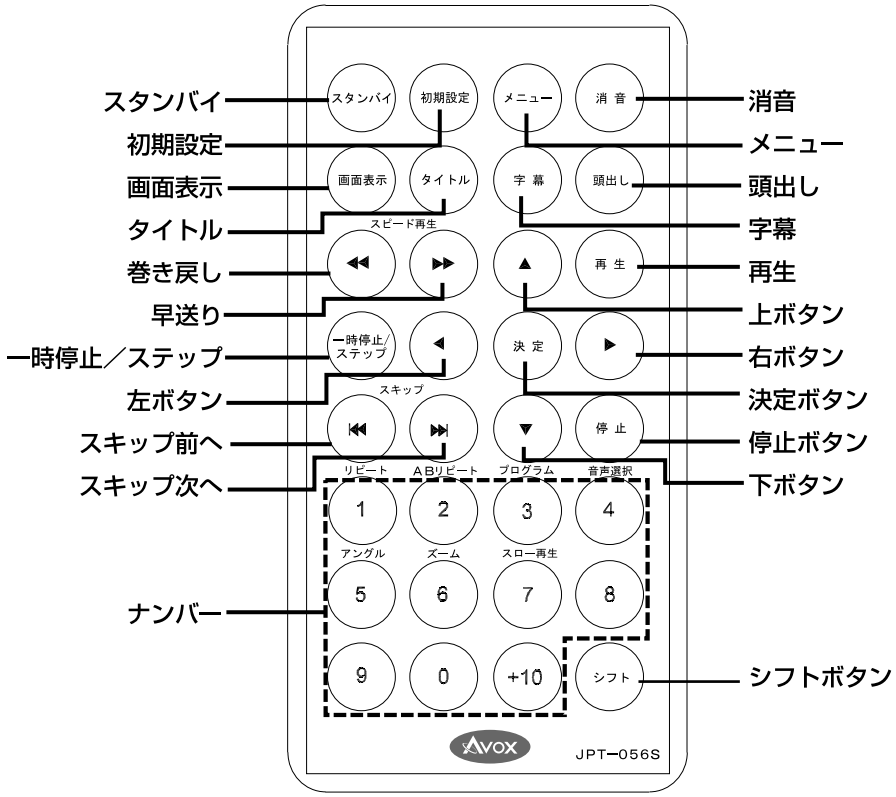
前側面図

右側面図



ポータブル DVD プレーヤーを使用する前に（続き）

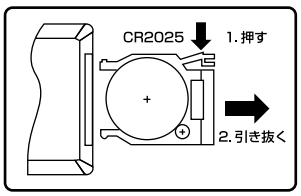
リモコンの外観図



リコモンのバッテリー装着

バッテリーコンパートメントの内部に記された（＋）と（−）に合わせてバッテリーを入れてください。

最初に使用するとき：
バッテリーコンパートメントから絶縁用のマイラーテープをはがすことを忘れないでください。



リモコン裏面から見た図

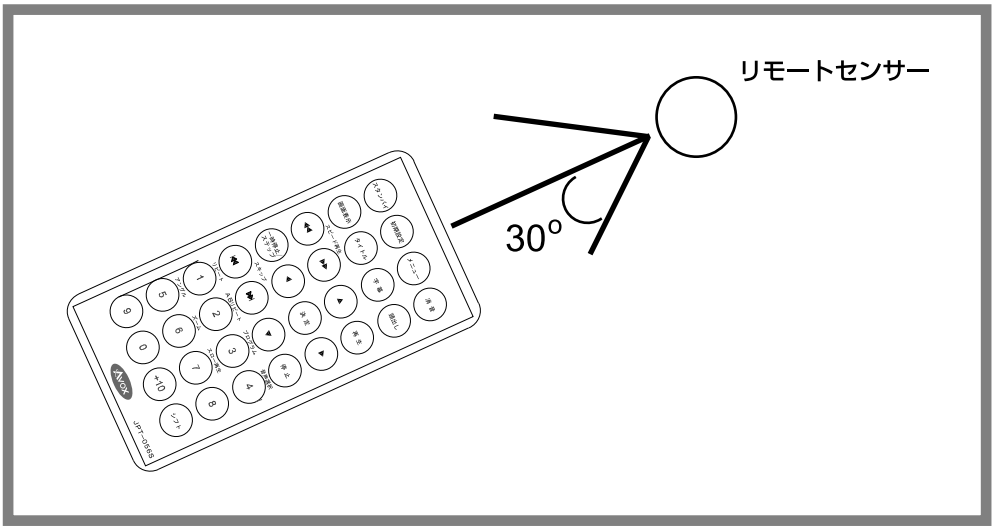
バッテリーの取り出し：
1. 矢印の方向に押しながら
2. 矢印の方向に引き抜く

バッテリーの寿命
1. バッテリーは、リモコンの使用回数や操作対象によりますが、通常少なくとも 1 年間は持ちます。
2. リモコンをプレーヤーの近くで操作しているにもかかわらず動作しないときは、バッテリーを交換してください。
3. 3V リチウム電池（CR2025）を使用してください。

ポータブル DVD プレーヤーを使用する前に（続き）

リモコンの操作範囲

リモコンセンサーから３メートル以内、リモコンを本体前面約 30℃の角度以内の範囲でセンサーに向けて操作してください。



操作可能距離は、部屋の明るさにより変化します。

注意：

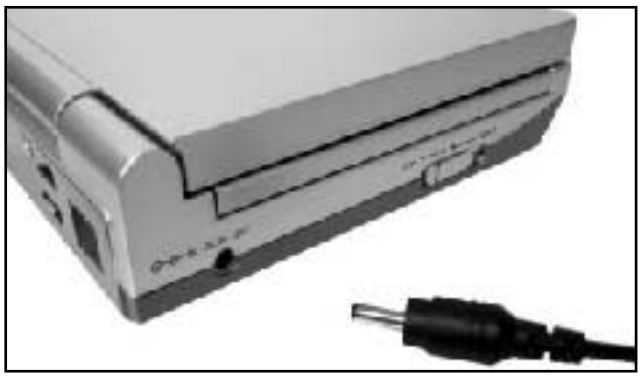
1. リモコン信号センサーに明るい光を当てないでください。
2. リモコンとリモコン信号センサーの間に物体を置かないでください。
3. 他の機器のリモコンを操作しているとき、同時に本リモコンを操作しないでください。

クイックオペレーションガイド

クイックオペレーション

ステップ 1　　本体を電源に接続（A 参照）
適合した AC アダプタを本ポータブル DVD プレーヤーの左側面にある DC IN ジャックに接続します。

(A)

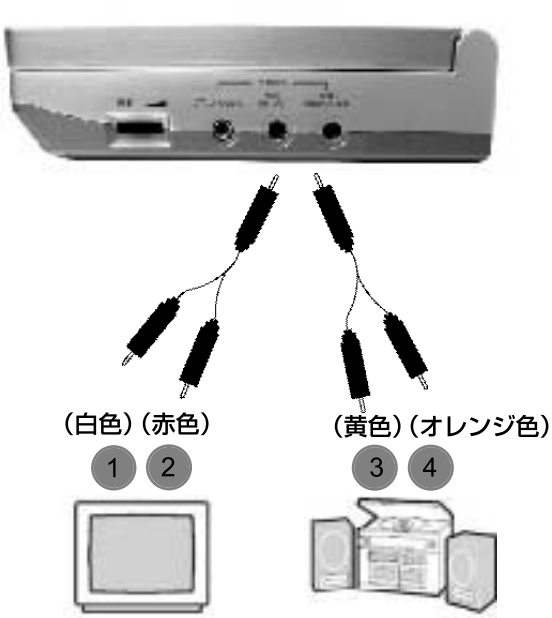


クイックオペレーションガイド（続き）

ステップ２　イヤホンまたは外部機器を接続（B 参照）
本ポータブル DVD プレーヤーをテレビやアンプなどの外部機器に接続して高品質サウンドおよび高品質映像を楽しむことができます。

注意：
1. 本ポータブル DVD プレーヤーと外部機器の電源が OFF になっていることを確認してから、接続を行なってください。

(B)



注意：
その外部機器がオーディオ／ビデオ入力機能をサポートしていることを確認してください

外部機器の背面／前面パネル

1. （白色）テレビまたはアンプの LEFT（左）オーディオ入力
2. （赤色）テレビまたはアンプの RIGHT（右）オーディオ入力
3. （黄色）テレビのビデオ入力
4. （オレンジ色）デジタルアンプの同軸デジタルオーディオ入力
   再生するには、接続した入力ソース（ビデオ 1、AUX、その他）を選択する必要があります。

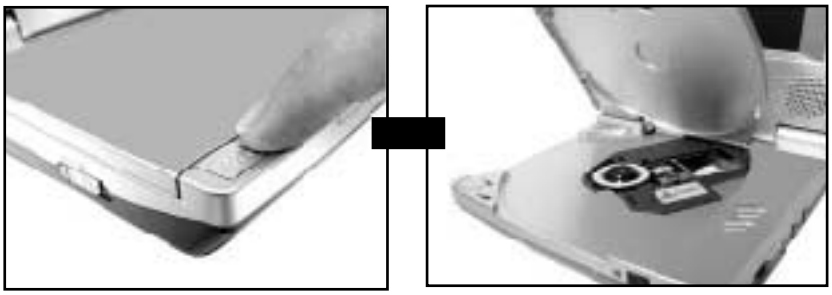
クイックオペレーションガイド（続き）

ステップ３　ポータブル DVD プレーヤーの電源ボタンをスライドして、電源を ON にします。（C 参照）

(C)

ステップ４　オープン／押すを押して、ディスクカバーを開けます。（D 参照）

(D)



ステップ５　ディスクの外側をやさしく持ち、ディスクの印刷面を上にして置き、センタースピンドルにしっかり固定します。

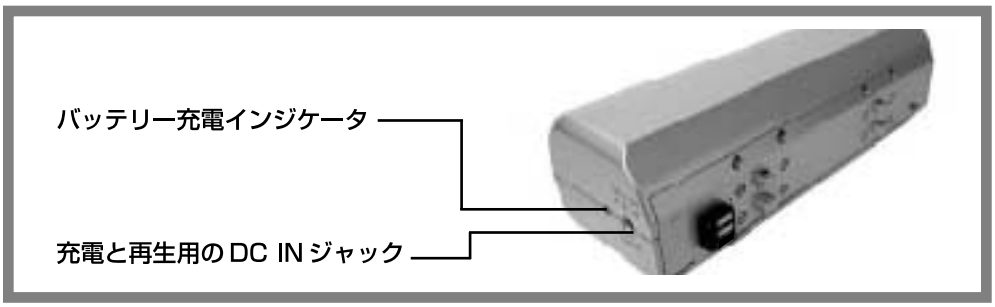
注意：ディスクの印刷面が上を向いていることを確認してください。

ステップ６　ディスクカバーを閉めます。

ステップ７　再生／一時停止ボタンを押して、ディスクを再生します。

注意：ご使用前に、光学ピックアップ保護カバーを必ず取りはずしてください。

バッテリーパックの使い方



バッテリーパックを使用するときは充電されていることを確認してください。
バッテリーパックを直接充電しても、またバッテリーパックをポータブル DVD プレーヤーに接続している状態で充電してもどちらでも可能です。

BP-5-Ni-MH
同梱されているバッテリーは、およそ 300 回充電できます。バッテリーの再充電におよそ 4、5 時間かかります。充電が終了すると赤いインジケータが緑色に変化し点滅します。完全に充電したバッテリーは、2 時間半ぐらい本体に電源を供給できます。消費電力は、画面の明るさ、ボリュームレベル、環境、気温、または一時停止、停止、早送り、巻き戻しボタンなどの使用回数によります。

注意：
長時間バッテリーを使用しないときは、保管する前に充電してください。また 3ヶ月ごとに再チャージしてください。これによりバッテリーの寿命が延びます。

バッテリーパックの充電

ステップ 1　AC アダプタをバッテリーパックの左側面にある DC IN ジャックに接続して、さらに家庭の電源コンセントに接続します。（以下の A 図を参照）

ステップ 2　バッテリー充電インジケータが赤色に変化すると充電が開始されます。

ステップ 3　バッテリーパックが完全に充電されるとバッテリー充電インジケータが緑色に変化し点滅します。

1-1 DVDの再生

□ 始める前に

ポータブルDVDプレーヤーをACアダプタとバッテリーパックに接続して、イヤホン、スピーカまたはホームシアターシステムを使用して再生します。

ホームシアターまたはステレオシステムを使用する場合
・テレビの電源をONにして、TV入力として使用する “ビデオ”を選択します。
・ホームシアター／ステレオシステムの電源をONにして、ポータブルDVDプレーヤーが接続されている入力ソースを選択します。

□ 基本的な再生

1. 電源ON/OFFスイッチをスライドして、電源をＯＮにします。
2. オープン／押すボタンを押して、ディスクカバーを開けます。
3. ディスクトレイにディスクの印刷面を上にしてディスクを置きます。

   ディスクの再生面に触れずにディスクを持ち、ディスクの印刷面が上を向くようにしてトレイのガイドに合わせ、センタースピンドルにしっかり固定します。

4. ディスクカバーを閉めます。
   ・ディスクカバーを閉めてください。ポータブルDVDプレーヤーは、自動的に再生を開始します。
   ・ディスクに１つ以上のタイトルがある場合は、メニュー画面が表示されます。

注意：ディスクに対応したメニューが表示される場合は、ステップ５と６に進んでください。

5. ＜ ▶/ ◀ / ▲ / ▼ ＞を押して、お好みの選択を行ないます。

6. (決定) 決定ボタンまたは (再生) 再生ボタンを押します。
   プレーヤーは選択した項目の再生を開始します。

□ 再生の停止およびメニュー画面への復帰（ディスクに対応したメニュー画面が使用できる場合）

(メニュー) メニューボタンを押してください。

ポータブルDVDプレーヤーは、再生を停止し、その後メニュー画面を表示します。

ご利用後
ポータブルDVDプレーヤーを使用していないときはディスクを取り出し、プレーヤーの電源ON/OFFスイッチをスライドして、OFFにします。そしてディスプレイパネルを閉めます。

注意：
・ プレーヤーはディスクの再生を終了してもメニューが表示されている間はディスクを回転させ続けます。これ以上再生しない場合、(停止) 停止ボタンを押して、メニュー画面をクリアしてください。
・ 間違ってディスクを逆さまに置いたら（それが片面ディスクの場合）プレーヤーのディスプレイには“ディスクエラー”と表示されます。

参考：

ボタンを操作しているとき ⃠ が表示されたら、その機能が今無効（動作できない）であることを示しています。

1-1 DVDの再生（続き）

□ 再生の停止

(停止) 停止ボタンを押すと停止します。

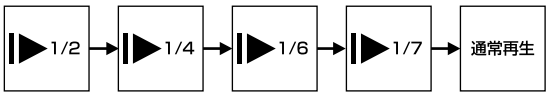
□ 早送り（巻き戻し）

再生中に (◀◀) 巻き戻しボタンまたは (▶▶) 早送りボタンを押します。

- (再生) 再生ボタンを押すと通常の再生で再開されます。
- (◀◀) 早送りボタンまたは (▶▶) 巻き戻しボタンを押すたびに、早送り速度（▶▶× 2、▶▶× 4、▶▶× 8、▶▶× 20、通常再生）または巻き戻し速度（◀◀× 2、◀◀× 4、◀◀× 8、◀◀× 20、通常再生）が切り替わります。

□ スロー再生

(シフト) シフトボタンを押して、“7”を数回押すとスロー再生ができます。



□ 通常再生に戻るには

(再生) 再生ボタンを押します。

チャプターの前方または後方にスキップ

再生中に指定したチャプターまたはトラックにスキップできます。

前方スキップ

再生中に (⏭) スキップ次へボタンを押します。
ボタンを押すたびに 1 つのチャプターをスキップします。

後方スキップ

再生中に (⏮) スキップ前へボタンを押します。
ボタンを押すたびに 1 つのチャプターをスキップします。

□ 静止画（PAUSE/STEP）

再生中に一度 (一時停止/ステップ) 一時停止／ステップボタンを押します。
画面の画像が一時停止します。

(一時停止/ステップ) 一時停止／ステップボタンを数回押してください。画像がフレームごとに再生されます。

通常の再生に戻るには
(再生) 再生ボタンを押します。

1-1 DVDの再生（続き）

□ リピート再生

再生中に（シフト）シフトボタンを押して、次に“1”を押します。

（シフト）シフトボタンを押すたびに“1”を押します。ディスクのチャプターまたはタイトルが繰り返されます。

1 度の押下：リピート オフ（リピート状態を表示）
2 度の押下：リピート チャプター（チャプターを繰り返す）
3 度の押下：リピート タイトル（タイトルを繰り返す）
4 度の押下：リピート オフ（リピートをキャンセル）

通常再生に戻るには、（シフト）シフトボタンを押して、“1”を押します。

（シフト）シフトボタンを押して、“リピート オフ”が画面に表示されるまで“1”を数回（繰り返し）押します。

注意：
・リピート再生は、再生経過時間を再生中プレーヤーの画面に表示できるディスクのみ機能します。
・リピート再生は、一部の DVD で適切に動作しない場合があります。

□ A－B 間リピート再生

本 DVD プレーヤーは、指定した区間を繰り返し再生することができます。

再生中に（シフト）シフトボタンを押して、“2”を押して、区間の開始ポイントを AB リピートー A 選択します。

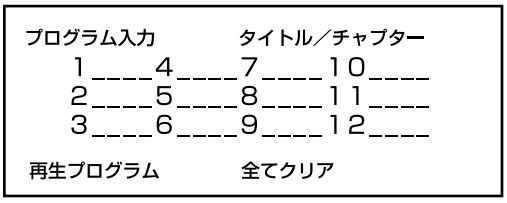
再生中に“2”をもう一度押して、区間の終了ポイント AB リピートー B を選択します。

通常再生に戻るには、（シフト）シフトボタンを押して、“2”を押します。A－B 間リピート再生がキャンセルされます。

□ お好みの順番で再生

（シフト）シフトボタンを押して、“3”を押します。

プログラムメニューが画面に表示されます。



ナンバーボタン、（▼）下ボタン、（◀）左ボタン、（▶）右ボタンを使用して、順番にタイトル／チャプター番号を選択します。

（▼）下ボタンボタンを使用し、プログラム再生を選択して、（決定）決定ボタンを押すと実行します。

1-2 便利な機能

□ シーンのインフォメーションの表示

シーンのインフォメーションの表示

再生中に(画面表示)画面表示ボタンを押すと、タイトル経過時間と残時間が表示されます

更に(画面表示)ボタンを押すと、タイトル数などの詳細データーを表示します。

更に(画面表示)ボタンを押すと、表示がオフになります

チャプター経過時間と残時間の表示は、ありません。

□ オーディオサウンドトラック言語の変更

1. 再生中に(シフト)シフトボタンを押して、“4”を押します。
2. お好みの言語が選択されるまで“4”を押します。

参考：

・何度かボタンを押してもお好みの言語が選択されない場合は、言語がそのディスクに対応していません。
・初期設定でオーディオ言語を設定することができます。
・電源を ON にしてディスクを取り出すと、ポータブル DVD プレーヤーは初期設定で選択した言語で再生します。ディスクに保存されていない言語を選択した場合、ポータブル DVD プレーヤーはディスクに事前にプログラムされた言語で再生します。

□ AFF（アクティブフルスクリーン機能）の起動 (Active Full - screen Function)

AFF（アクティブフルスクリーン機能）によりワイドスクリン形式対応のDVDを再生するとテレビ画面のビューエリアを画面いっぱいに広げることができます。リモコンのAFFを押すと（1対1.85縦横比）を無効にするか、または画面の上部と下部の黒い帯を縮小します。
シフトボタンを押して、“8”を押します。AFFが起動します。

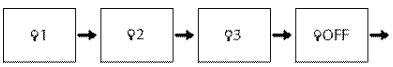
AFF を
起動する前

AFF を
起動した後

□ 画像のズーム

本 DVD プレーヤーは、ズームポイントを移動して画像をズームすることができます。
通常再生またはスローモーション中に(シフト)シフトボタンを押して、“6”を数回押します。

プレーヤーは、画像の中央を拡大します。



再生中に(▲)上ボタン、(▼)下ボタン、(▶)右ボタン、(◀)左ボタンを押すとズームポイントを移動できます。

ズーム機能をキャンセルするには、(シフト)シフトボタンを押してズームが off になるまで“6”を押します。

1-2 便利な機能（続き）

□ サブタイトル言語のクリア／表示／変更

ディスクにサブタイトルがある場合、それを表示／非表示にできます。（この操作はディスクにサブタイトルがある場合のみ実行できます）

再生中に 字幕 字幕ボタンを押して、サブタイトルを表示または非表示にします。 字幕 字幕ボタンを２度押すとディスクに保存された最初のサブタイトルが表示されます。さらにそのボタンを押すと残りのサブタイトルが順番に表示されます。

・このキーを使用して他の言語に切り替えることができます。また、“サブタイトル OFF”が画面上に表示されるまでこのキーを押すとサブタイトルを OFF にできます。

可能な場合、サブタイトル言語を変更できます。

1. 再生中に 字幕 字幕ボタンを押します。
   サブタイトルが保存されていない場合は、“ ⃠ ”が言語番号の代わりに表示されます。

2. お好みの言語が選択されるまで 字幕 字幕ボタンを押します。

注意：場合により、サブタイトル言語が選択した言語にすぐに変わらないことがあります。

参考：

・初期設定でサブタイトル言語を設定できます。
・使用するディスクがサブタイトル言語に対応していないと、ボタンを数回押してもお好みのサブタイトル言語を選択できません。

□ 異なったアングルからの再生

特別な機能を持つ DVD は多数の異なったアングルから同時に撮影されたシーンを持っています。これらのディスクはアングルボタンを使用して同じシーンを異なったアングルから表示できます。（保存されたアングルは、ディスクのプログラムにより異なります）

1. 再生中にアングルボタンを押します。

2. お好みの表示アングルが現れるまでアングルボタンを押します。

アングルボタンを押して、表示アングルを変更します。

注意：
・アングル機能は、異なったアングルが保存されたディスクのみ実行できます。
・表示アングルがプレーヤーのディスプレイに示されますので、そこから 1 つを選択できます。

1-2 便利な機能（続き）

□ DVD プレーヤーの消音

時にはポータブル DVD プレーヤーの音声を一時的に消したいときがあります。そのようなときのために、本ポータブル DVD プレーヤーにはミュート機能がついています。

再生中に（消音）消音ボタンを押します。
- 🔇 が画面に表示されているときは、ポータブル DVD プレーヤーはミュートされています。音声を再開するには、🔇 が画面から消えるまで消音ボタンを押します。

□ DVD メニューの使い方

一部の DVD には DVD メニューと呼ばれるユニークなメニュー構造があります。例えば、複雑なコンテンツがプログラムされた DVD にはガイドメニューがあり、複数の言語が保存されたものにはオーディオとサブタイトル言語のメニューがあります。DVD メニューの内容や操作はディスクにより異なります。基本的な操作を以下に説明します。

1. プレーヤーが停止した状態で（タイトル）タイトルボタンを押します。

   ディスクに対応した DVD メニューが表示されます。

2. <◀／▶／▲／▼>を押して、お好みの項目を選択します。

3. （決定）決定ボタンを押します。
   選択した項目を登録します。

   他のメニュー画面を登録するには
   ステップ２から３を繰り返します。

   前のメニュー画面に戻るには
   （タイトル）タイトルボタンを押します。

□ メニュー機能の使い方

1. （停止）停止ボタンを押します。
2. （メニュー）メニューボタンを押します。

   各チャプターを紹介した DVD チャプターメニューが表示されます。それぞれのチャプター紹介を見てからどのチャプターから最初にスタートするか決めることができます。

3. <◀／▶／▲／▼>またはナンバーボタンを押して、お好みの項目を選択します。

注意：メニューの内容は保存されたディスクにより異なります。

1-2 便利な機能（続き）

□ タイトル／チャプター番号からシーンを選択

再生したいシーンがあるタイトル／チャプターに移動できます。

1. 再生中に（頭出し）頭出しボタンを押します。
2. （▼）下ボタン、（◀）左ボタン、（▶）右ボタン、（▲）上ボタンを押して、
   カーソルをタイトルまたはチャプターに移動します。
3. ナンバーボタンを押して、お好みのタイトルまたはチャプターを指定します。
4. （決定）決定ボタンを押します。
   ポータブル DVD プレーヤーは選択したタイトル／チャプター番号から再生を開始します。

□ 時間からシーンを選択

1. 再生中に（頭出し）頭出しボタンを押します。
2. ナンバーボタンを押して、観たいシーンの時間を指定します。
   例えば、“1 時間 50 分 00 秒”と入力するためには、“1”、“5”、“0”、“0”、“0”と押します。
3. （決定）決定ボタンを押します。
   ポータブル DVD プレーヤーは指定した場所から再生を開始します。

注意：
・再生中プレーヤーの画面に再生経過時間を表示できるディスクでないとこの操作は実行できません。
・一部のディスクでは、上記の手順を正しく行なっても異なった場所から再生を開始することがあります。

参考
・ボタンを押して ⃠ が表示されると、その操作は実行できません。

2-1 オーディオCDの再生

□ 始める前に

ポータブルDVDプレーヤーにACアダプタおよびバッテリーパックを接続して、イヤホン、スピーカ、ホームシアターシステムなどを使用して再生します。

ホームシアターシステムまたはステレオシステムに接続するには

●ホームシアターシステム／ステレオシステムの電源をONにして、接続した入力ソースを選択します。

□ 基本的な再生

1. 電源ON/OFFボタンをスライドさせて、電源ONにします。

2. オープン／押すボタンを押して、ディスクカバーを開けます。

3. ディスクをトレイに印刷面を上にして置きます。
   ディスクの再生面に触れずにディスクを持ち、ディスクの印刷面が上を向くようにしてトレイのガイドに合わせてセンタースピンドルにしっかり固定します。

4. ディスクカバーを閉めます。CDは自動的に再生されます。

□ 再生の停止

(停止)停止ボタンを押すと停止します。

□ 早送り（巻き戻し）

再生中に(◀◀)巻き戻しボタンまたは(▶▶)早送りボタンを押します。

・(再生)再生ボタンを押すと通常再生で再開されます。

・(▶▶)早送りボタンまたは(◀◀)巻き戻しボタンを押すたびに早送り速度（▶▶×2、▶▶×4、▶▶×8、▶▶×20、再生）または巻き戻し速度（◀◀×2、◀◀×4、◀◀×8、◀◀×20、再生）が切り替わります。

2-1 オーディオCDの再生（続き）

□ トラックを前方または後方にスキップ

前方スキップ

再生中に（⏭）スキップ次へボタンを押します。

ボタンを押すたびにトラックをスキップします。

後方スキップ

再生中に（⏮）スキップ前へボタンを押します。

ボタンが押されるたびにプレーヤーはトラックをスキップします。

□ 再生の一時停止

再生中に（一時停止/ステップ）一時停止／ステップボタンを 1度押します。

プレーヤーは、再生を一時停止します。

通常再生に戻すには
（再 生）再生ボタンを押します。

2-2 CDのインフォメーション表示（オーディオCD）

□ CD のインフォメーションのクリア／表示

再生中に（画面表示）画面表示ボタンを押すと、トラック（曲）経過時間と残時間が表示されます

更に（画面表示）ボタンを押すと、トラック数などの詳細データーを表示します。

更に（画面表示）ボタンを押すと、表示がオフになります。

タイトル（アルバム）経過時間と残時間の表示は、ありません。

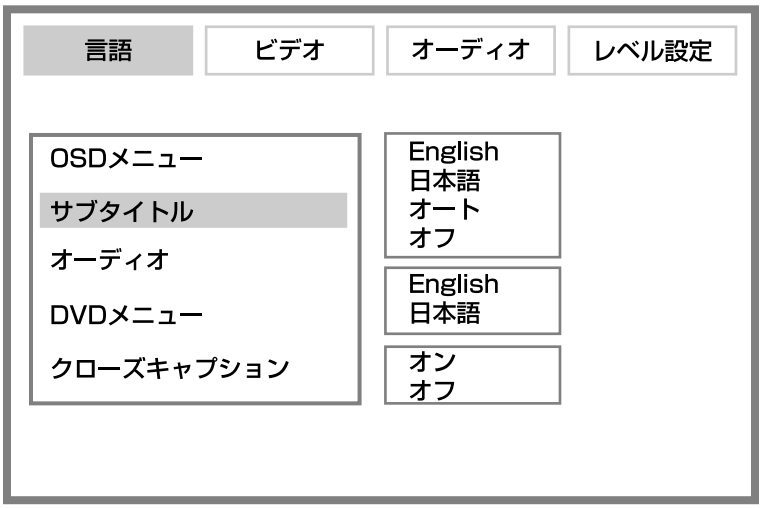
3-1 言語のセットアップ

□ 言語の設定

オンスクリーンディスプレイ（OSD）用にいろいろな言語を設定できます。

・DVDディスクに保存された様々な言語の中からお好みのサブタイトル言語を選択できます。
・DVDディスクに保存された様々な言語の中からお好みのサウンドトラック言語を選択できます。
・DVDディスクに保存された様々な言語の中からディスクメニューメッセージディスプレイ用にお好みのDVDメニュー言語を選択できます。

1. 初期設定 初期設定ボタンを押して、決定 決定ボタンを押します。
2. ▼ 下ボタンを使用し、“お好みの項目”を選択して、決定 決定ボタンを押します。
3. ▲ 上／▼ 下ボタンを押して、お好みの言語を選択します。
4. 決定 決定ボタンを押します。



セットアップ操作を終了するには
初期設定 初期設定ボタンを押して、終了します。

参考：

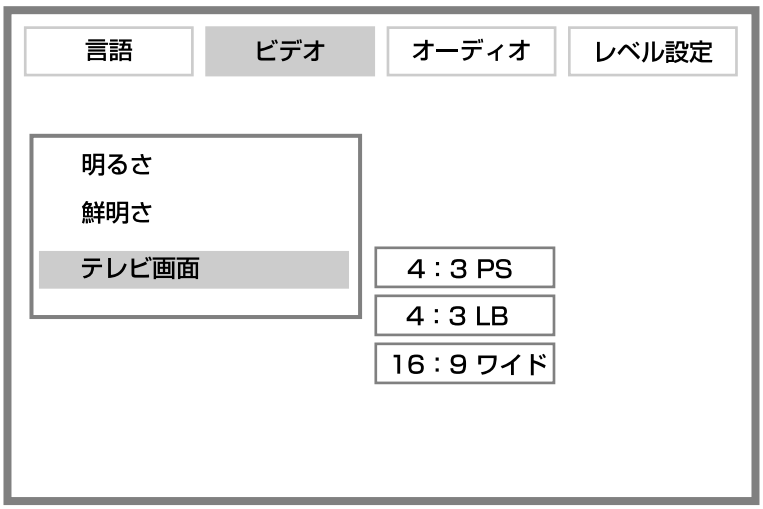
選択した言語がディスクに保存されていない場合は、ディスクの最優先言語で再生します。クローズキャプションがディスクに保存されている場合やテレビにクローズキャプション機能がサポートされている場合はクローズキャプションをONに切り替えることができます。クローズキャプションを使用するときは、サブタイトルをOFFに切り替える必要があります。

3-2 ビデオのセットアップ

□ テレビの画面の縦横比の設定

テレビ画面のサイズに合わせて、最適に表示させるために従来の４：３パン＆スキャン、（4:3 LB）レターボックスムービーまたはワイドスクリーンからお好みのものを選択できます。

1. (初期設定) 初期設定ボタンを押します。
2. (▶) 右ボタンを使用し“ビデオ”を選択して、(決定) 決定ボタンを押します。
3. (▼) 下ボタンを使用し、テレビの形状（画面サイズ）を選択して、(決定) 決定ボタンを押します。
4. (▲) 上／(▼) 下ボタンを押して、お好みのテレビ画面を選択します。
5. (決定) 決定ボタンを押します。（以下の説明をご覧ください）



セットアップ操作を終了するには
(初期設定) 初期設定ボタンを押して、終了します。

４：３パン スキャン
従来のサイズのテレビに対しては４：３ PSを選択します。パン＆スキャンスタイルでフォーマットされたビデオ素材が再生されます。プログラムにより左右の端をカットする可能性があります。

４：３レターボックス
従来のサイズのテレビに対しては４：３ LBを選択します。画面（レターボックス）の上部と下部に黒い帯が表示されます。しかし、実際はワイドスクリーンプログラムの縦横比であることに注意してください。
・パン＆スキャンスタイルでフォーマットされていないビデオ素材は、レターボックススタイルで再生します。

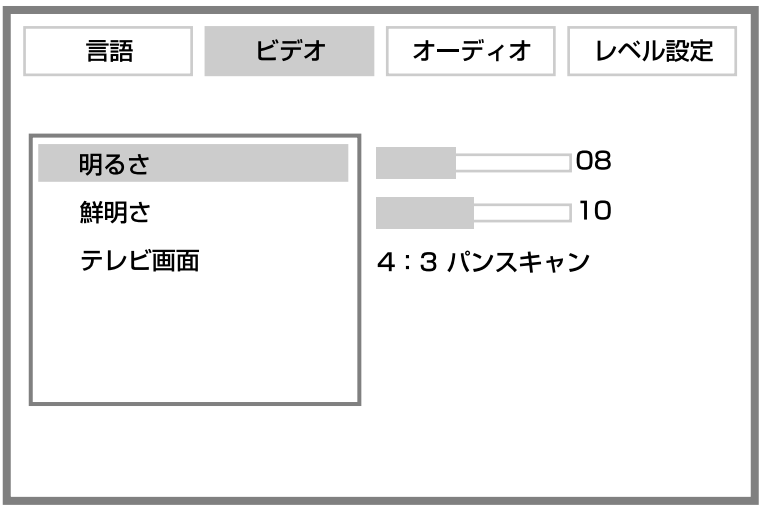
16：９ワイド
ワイドスクリーンテレビに対しては16：９ワイドを選択します。“フル”サイズで再生されます。
・ワイドスクリーンテレビを“フル”モードに設定する必要があります。
・各画面はワイドスクリーンのビデオ素材が再生されるときの例を示しています。

3-2 ビデオのセットアップ（続き）

□ 明るさと鮮明さの調節

明るさと鮮明さを調節できます。

1. (初期設定) 初期設定ボタンを押します。
2. (▸) 右ボタンを使用し“ビデオ”を選択して、(決定) 決定ボタンを押します。
3. (▲) 上ボタン、(▼) 下ボタンを押して、明るさと鮮明さを選択します
4. (▸) 右ボタン、(◂) 左ボタンを押して、お好みの明るさと鮮明さに調節します。



セットアップ操作を終了するには
(初期設定) 初期設定ボタンを押して、終了します。

3-3 オーディオのセットアップ

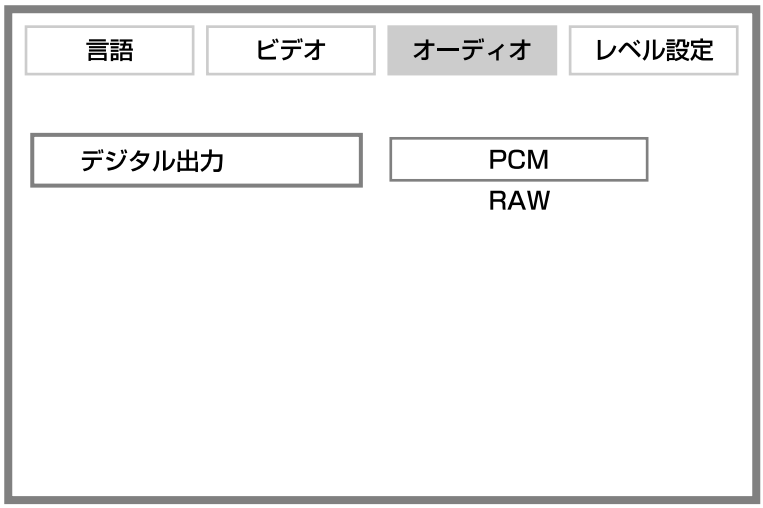
□ デジタル出力の設定

ポータブル DVD プレーヤーには、デジタル出力設定として
“PCM” “RAW” の２つのオプションがあります。

参考：

同軸接続をサポートしているドルビーデジタル5.1またはDTS機能が装備されたアンプを使用する場合は、オーディオ出力をRAWに設定する必要があります。2チャンネルドルビーデジタルアンプを使用する場合は、オーディオ出力をPCMに設定する必要があります。

1. 初期設定 初期設定ボタンを押します。
2. ▸ 右ボタンを使用し、“オーディオ” を選択して、決定 決定ボタンを押します。
3. ▲ 上ボタン、▼ 下ボタンを使用し、お好きな “デジタル出力” を選択して、
   決定 決定ボタンを押します。



セットアップ操作を終了するには
初期設定 初期設定ボタンを押して、終了します。

3-4 カスタムセットアップ

□ ペアレンタルコントロールの設定（DVD）

レベル設定機能により、お子様たちに見せたくないビデオプログラムをロックアウトすることができます。例えば、PG-13 に設定すると本ポータブル DVD プレーヤーは、正しいパスワードを入力しない限り、R 指定、NC-17 またはアダルトのビデオを再生できません。

1. (初期設定) 初期設定ボタンを押します。
2. (▶) 右ボタンを使用し、“レベル設定” を選択して、(決定) 決定ボタンを押します。
3. (▼) 下ボタンを使用し、“レベル設定” を選択して、(決定) 決定ボタンを押します。
4. 設定したいレーティングがハイライトされるまで (決定) 決定ボタンを押します。
5. (▲) 上ボタンを押し、パスワードを選択して、4桁のパスワードを入力します。

   その後、(決定) 決定ボタンを押します。

注意：
レベル設定をロックした後レベル設定を変更する場合、レベル設定を解除するためにパスワードを入力する必要があります。
工場出荷時のパスワードは、**“3308”** で設定されております。

6. (初期設定) 初期設定ボタンを押して、終了します。

注意：パスワード変更後は、お客様の責任において管理してください。

参考：

- ペアレンタルロック機能を持つディスクに対してのみペアレンタルロック機能が働きます。
- 一部のディスクでは、ディスクジャケットにアダルト指定と注意書きがあるにもかかわらず、指定のレベル設定情報がエンコードされていないものがあります。これらのディスクに対してレベル設定ロックは機能しません。

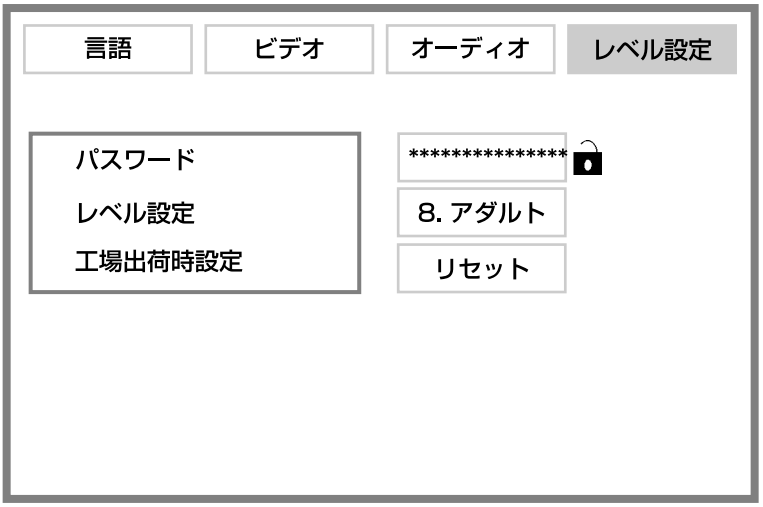
3-4 カスタムセットアップ（続き）

□ パスワードの設定（DVD）

本ポータブル DVD プレーヤーは、お好きなパスワードに変更することができます。

1. (初期設定) 初期設定ボタンを押します。
2. (▸) 右ボタンを使用し、“レベル設定” を選択して、(決定) 決定ボタンを押します。
3. 以前パスワードを設定した場合、古いパスワードを入力し、(決定) 決定ボタンを押して、古いパスワードを解除します。
4. 新しいパスワードを入力して、(決定) 決定ボタンを押します。

注意：工場出荷時のパスワードは、**“3308”** で設定されております。



セットアップ操作を終了するには
(初期設定) 初期設定ボタンを押して、終了します。

3-4 カスタムセットアップ（続き）

□ 工場出荷時設定

工場出荷時の設定をロードすると、カスタムセットアップで設定したものを元の設定にリセットします。

1. 初期設定 初期設定ボタンを押します。
2. ▶ 右ボタンを使用し、“レベル設定” を選択して、決定 決定ボタンを押します。
3. ▲ 上ボタン、▼ 下ボタンを使用し、“工場出荷時設定” を選択して、
   決定 決定ボタンを押します。

4-1 故障かな？

本ポータブルDVDプレーヤーで発生したトラブルについて問い合わせ前に、発生した問題の原因を以下の表でチェックしてみてください。簡単な確認またはちょっとした調節で問題が解決したり、適切な状態に回復できる場合があります。

トラブル（一般）	対策
電源が入らない。	・電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込んでください。 ・プレーヤーの左側にある電源ON／OFFボタンがONになっているかどうかチェックしてください。 ・ACコンセントにテスト用器具を接続して電源がきているかどうかチェックしてください。 ・バッテリーを充電してください。
プレーヤーの再生ボタンを押しても再生しない。	・結露が発生しています。プレーヤーが乾くまで1時間から2時間ぐらい待ってください。 ・本プレーヤーは、DVDまたはオーディオCD以外は再生しません。 ・異なったディスクを使用したため、不具合が発生していないかチェックしてください。 ・地域（リージョン）コードをチェックしてください。 ・ディスクが逆さまになってトレイに入っている可能性があります。
再生を始めるが、すぐに停止する。	・ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいに掃除してください。 ・ディスクがラベル面を上にして挿入されているかどうか確認してください。
画像が表示されません。	・機器が正しく接続されているかどうか確認してください。 ・テレビの入力設定が"ビデオ"になっているかどうか確認してください。 ・外部機器の電源がONになっているかどうかチェックしてください。 ・テレビの入力切替を正しく選択してください。 ・LCDの電源がONになっているかどうかチェックしてください。
音声が出ない。	・機器が正しく接続されているかどうか、およびオーディオジャックにしっかり接続されているかどうか確認してください。 ・HiFiアンプを使用している場合は、違うサウンドソースを使用してみてください。 ・オーディオ出力設定メニューをチェックして、アナログ出力が選択されているかどうか確認してください。 ・ボリュームを調整してみてください。
サウンドが歪む。	・テレビおよびステレオシステムの入力設定が適切であるかどうか確認してください。 ・静止画（一時停止）中、音声は出力されません。
デジタル出力で音声が出ない。	・デジタル系統の接続をチェックしてください。 ・選択したオーディオフォーマットが受信機の機能に適合しているかどうかチェックしてください。
画像が歪む。	・ディスクに指紋がついていないかチェックし、柔らかい布を使用してディスクの中央から外側に向けて拭いてきれいにしてください。 ・時々少量の画像歪みが現れることがあります。これは故障ではありません。
早送りまたは巻き戻し中に画像が歪む。	・早送りや巻き戻しをすると通常画像が歪みます。
早送り（巻き戻し）再生ができない。	・一部のディスクには、早送り（巻き戻し）を禁止する部分を持つものがあります。
4 :3 （16:9）画像にならない。	・"テレビの形状"項目から使用しているテレビに適合する項目を選択してください。
サブタイトルがでない。	・サブタイトルを持つディスクのみサブタイトルが表示されます。 ・サブタイトルが非表示になっています。（説明は18ページにあります）
リモコンで操作ができない。	・バッテリーが正しい極性(＋)と(－)で入っているかどうかチェックしてください。 ・バッテリーが劣化しています。新しいバッテリーに交換してください。 ・リモコンをリモコン信号センサー向けて操作してください。 ・リモコン信号センサーから3メートル以内の距離でリモコンを操作してください。 ・リモコンとリモコン信号センサーの間にあるじゃまな物体を除去してください。
キー操作（DVD プレーヤーの電源およびリモコン）ができない。	・本体の電源をOFFにしてからONに切り替えてみてください。あるいは本体の電源をOFFにして、AC電源Cコードをはずして再度接続してみてください。（プレーヤーは落雷、静電気またはそれ以外の外的要因で適切に動作しなくなる場合があります）
タイトルを選択してPLAYを押しても再生が実行されない。	・これはペアレンタルロックが設定され、ペアレンタルロック機能が働いているからです。セットアップメニューでペアレンタル設定を確認してください。
オーディオサウンドトラックおよびサブタイトル言語が初期設定で選択された言語でない。	・ディスクにオーディオサウンドトラックおよびサブタイトル言語が存在しないと、初期設定で選択した言語は視聴できません。
代替オーディオサウンドトラック（またはサブタイトル）言語が選択できない。	・使用できる言語がその言語以外存在しないと代替言語を選択できません。
アングル表示ができない。	・この機能は、ソフトウェアによります。多数のアングルが保存されていても、すべてのアングルが有効にならず、特定のシーンのみ有効になる場合があります。
ペアレンタルロックのパスワードを忘れた。	・最優先パスワードの3308を入力してください。
バッテリーを電源に接続しても、バッテリー充電インジケータがONにならない。	・バッテリーパックを電源からはずして30秒間そのままにします。再度、バッテリーパックを電源に接続してください。

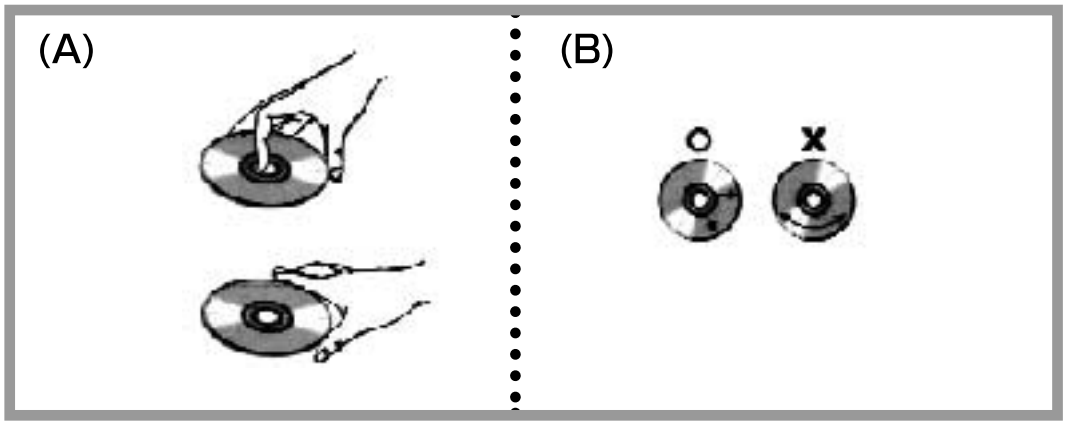
4-2 ディスクの扱い方とメンテナンス

□ **扱い方の注意**

・指紋をつけないようにディスクの外側に指を当ててつかんでください。（A参照）
指紋、よごれ、キズは音声や画像の飛び越しやひずみの原因になります。
・ボールペンやその他の筆記具を使用してラベル面に文字などを書かないでください。
・レコードクリーニングスプレイ、ベンジン、シンナー、静電気防止液、その他の溶剤を使用しないでください。
・ディスクを落としたり、曲げたりしないように気をつけてください。
・ディスクトレイに1枚以上ディスクを入れないでください。
・DVDをトレイに適切に置いたとき以外ディスクカバーを閉めないでください。
・ディスクを使用しない場合は、必ず専用のケースに入れて保管してください。

□ **表面が汚れた場合（B参照）**

柔らかい布を湿らせて（水のみ）やさしく拭きます。
ディスクを拭くときは、ディスクの中央の穴から外側に向かって布を動かします。
（円を描くように拭くと、円状のキズができる可能性があります。ノイズの原因になります。）



寒いところから暖かいところにディスクを移動するとディスク上に水滴ができます。
ディスクを使用する前に、乾いた柔らかい布でこの水滴を拭き取ってください。

□ **ディスクを保管してはならない場所**

ディスクを以下の場所に保管するとディスクにダメージを与えます。
・直射日光が射す場所
・湿度が高い場所または汚い場所
・暑い排気口や熱器具に直接さらされるような場所

□ **メンテナンス**

・AC電源コーをはずすときは必ず本体の電源をOFFにしてください。
・必ず乾いた柔らかい布で拭いてください。ディスク表面がかなり汚れているときは、石鹸水に浸して、固く絞った布できれいにします。そのあと乾いた布で再度拭きます。
・アルコール、ベンジン、シンナー、クリーニング液、その他化学品は絶対に使用しないでください。また、ほこりを取るために圧縮空気も使用しないでください。

4-3 用語の定義

□ **アングル**

これは特別な編集が施されたディスクに保存されています。同一シーンを同時に多数の異なったアングルから撮影されたシーンをいいます（同じシーンを前面から、左側から、右側から撮影したものです）。そのようなディスクを再生しているときにANGLEボタンを押すとそのシーンを異なったアングルから再生できます。

□ **チャプター番号**

これらの番号は、DVDディスクに保存されています。1つのタイトルが多数のセクションに再分割されるとそれぞれに番号がつけられます。これらの番号を使用するとビデオの特定の部分を素早く検索できます。

□ **DVD**

デジタル信号を用いて、高品質画像および高品質音声を保存した高密度光ディスクをいいます。新しいビデオ圧縮技術（MPEG II）と高密度録画技術を取り入れているために、DVDは美しいフルモーション映像を長時間録画できます（例えば、1本の映画を丸々録画できます）。

DVDは、0.6 mmの薄さのディスクを2枚貼り合わせたディスクです。2枚の薄いディスクが貼り合わせてあるため、再生時間をさらに長くできる両面再生が将来できるようになる可能性があります。

□ **サブタイトル**

字幕のことで、画面の下部に表示されます。これはDVDディスクに保存されています。

□ **時刻表示**

これはディスクやタイトルの開始時から経過した再生時間を表示するものです。特定のシーンを素早く見つけるために使用します。（一部のディスクでは使用できないものもあります）

□ **タイトル番号**

これらの番号はDVDディスクに保存されています。ディスクに2本以上の映画がある場合にタイトル1、タイトル2と番号が付けられます。

□ **トラック番号**

これはオーディオCDに保存されたトラックに割り付けられた番号のことです。これを使用すると素早く指定のトラックに移動できます。

4-4 仕様

□ **ポータブルDVDビデオプレーヤー**

電源	100V −240V、50/60Hz
消費電力	9W
重量	0.7kg （本体のみの重量）
外寸法	154×40×147mm（幅／高さ／奥行き）
レーザー	半導体レーザー

□ **出力**

ビデオ出力	1.0V（p-p）、75Ω
オーディオ出力（デジタル出力）	0.5V（p-p）、75Ω
オーディオ出力（アナログ出力）	2.0 V（rms）、10KΩ

□ **再生可能メディア**

DVD-VIDEO	CD ※1	CD-R/RW ※2 音楽用フォーマット・ビデオCDフォーマット JPEGファイル
VIDEO CD	DVD-R/RW ※2	
SVCD	DVD+R/RW ※2	Kodak Picture CD

※1 コンパクトディスク（CD）規格に準拠していない著作権保護技術付き音楽ディスクは動作・音質を保証できません。

※2 DVD-R/RW、CD-R/RW、DVD+R/RWは記録状態・記録条件によっては再生できない場合があります。
また、スピード再生、サーチ機能など通常再生以外の動作ができない場合があります。
（DVDビデオディスクを作る時は、ビデオフォーマットを選択し、最後にファイナライズ処理を行ってください。）

C-MEX

■セントレードM.E.株式会社

〒110-0016　東京都台東区台東1丁目24番9号

【カスタマーサポートセンター】　http://www.c-mex.co.jp/
受付時間 9:30～12:30,13:30～17:30（土・日・祝日・弊社休日を除く）
TEL：(03) 3834-3631　FAX：(03) 5688-1578

お問い合わせはカスタマーサポートセンターでのみ受け付けております。

【AVOX技術センター】（点検・修理製品の送り先）
〒120-0034　東京都足立区千住1丁目3番6号　TOCビル2階
TEL：(03) 3879-4445　FAX：(03) 3879-4443